

## 令和6年度 つつじがおか幼稚園 自己評価

### 目指す園の姿

「笑顔いっぱい 夢いっぱい 今日が楽しく、明日が待ち遠しい幼稚園」

1. 「本園に入園してよかった」と子ども・保護者一人ひとりが充実感をもつ園
2. 全教職員で全員の子どもを見つめ、寄り添い、育てる園
3. 園児一人ひとりに目・手・言葉・心をかけ、自立の支援を行う園

### めざす園児の姿（教育目標）

1. 心身ともに健康な子ども（体）
2. 友達と仲良く助け合う子ども（情）
3. 個性豊かで創造力に富む子ども（知）
4. 物事に進んで取り組む子ども（意）

### 【評価基準】

1:不十分 2:やや不十分 3:どちらともいえない 4:実施できた 5:しっかりと実施できた

#### 1. 教育について

評価項目	評価	取り組み状況
①目指す園児の姿である「心身ともに健康な子ども」「友達と仲良く助け合う子ども」「個性豊かで創造力に富む子ども」「物事に進んで取り組む子ども」を理解し、目標達成のために保育や活動を工夫することができたか。	4	1年間を通して「心身ともに健康な子ども」「友達と仲良く助け合う子ども」を意識し、戸外での遊びやゲーム、運動遊びを取り入れるようにした。またその中で友達同士仲良くかかわれるよう取り組んだ。2学期、3学期は特に「友達と仲良く助け合う子ども」「個性豊かで創造力に富む子ども」「物事に進んで取り組む子ども」を意識し、運動会や発表会、作品展などで、友達と協力することの楽しさや最後までやりぬくたくましさを育てた。作品展では一人ひとりの表現を認めていくようにし、みんなで一つのものを作り上げる楽しさ、充実感を味わうことができた。
②園児の基本的習慣を確立するための援助や指導はできているか。	4	今年度も園生活の中で、所持品の始末の仕方、ロッカーの整理整頓の仕方など、繰り返し伝え、指導援助してきた。また、手洗いうがいの励行についても繰り返し指導を行い、習慣づけることができた。園だよりやクラスだより等でも保護者に協力を依頼し、家庭と園が連携し取り組めたように思われる。
③子ども達が様々な体験を通して、諦めずにやり遂げる達成感や、友達と協力する喜びを味わっているか。また、当番活動等を通じて、責任感や人の役に立つ喜びを体験できているか。	4	運動会や発表会、作品展などの園行事を通して最後まで諦めず取り組み、協力しあう喜びを味わう体験ができた。当番活動では職員室への出欠報告や保育者の手伝いなど、責任感を持って生き生きと取り組む姿が見られた。
④異年齢交流等を通して、子ども達に思いやりの心や感謝の心を育むことができているか。	4	年少組の登園時に年中、年長組の子どもが手をつないでクラスまで連れて行ってあげたり、作品展では縦割りでの活動になり、年長組が年中、年少組のお世話をしたりするなど触れ合う機会を作ることができた。また、おわかれ会で年長組への感謝の気持ちを込めたプレゼント製作し渡したり、感謝の言葉を伝えたりした。

⑤特別活動（体操活動・英語活動）を通して、子ども達の成長を促す援助がなされているか。	3	体操や英語は、専任の指導講師の指導により、子ども達は体を動かす楽しさを味わい、また、楽しく英語に触れることができたと思う。専任講師の補助を務めながら担任達も学びを深め、日々の保育の中に取り入れて活かし、楽しむこともできた。
⑥園庭や周辺の豊かな環境を通して自然現象や虫、植物等に親しみ、探求心や好奇心を育てているか。	5	春から夏にかけては虫探しを楽しみ、図鑑を見ながら虫について知識を深め、青虫の飼育をし、蝶になると自然に帰した。秋は様々な色の落ち葉を拾ったり、どんぐりひろいなどもした。冬場は霜柱や氷を見つけて不思議がり、園庭での氷づくりにも取り組んだ。学年ごとにプランターでの植物栽培や野菜栽培、ヒヤシンスの水栽培をし、成長過程を興味深く観察できた。
⑦季節の行事を通して日本や世界の文化に親しみ、心豊かで逞しい子に育てることはできているか。	4	こいのぼり会、七夕、やきいも、おたのしみ会（クリスマス会）もちつき、節分やひなまつりなどの行事を実施し、その季節や日本、世界の文化に親しむことができた。また、行事を通して心豊かに育つよう、指導援助することができた。

## 2. 保護者との連携について

評価項目	評価	取り組み状況
①子ども達の園での姿について保護者に十分に伝えら、成長や課題について情報共有ができていますか。	3	担任は降園時に1日の活動内容や子どもたちの様子を伝え、成長できたこと、また、気がかりなことなどはできるだけ情報共有できるよう心がけている。まんべんなく十分にとはいかなかったが、電話連絡等も行い、個人面談時には子どもの成長について話し合うことができた。
②保護者が園児の発達について相談しやすい環境となっているか。	3	降園時はクラスの前まで行き、担任と直接顔を見合わせて降園するので、気軽に相談できる機会をつくるようにしてはいるものの、実際に相談をしやすいのかはわからない。

## 3. 教職員について

評価項目	評価	取り組み状況
①現状に満足することなく、保育者が日々保育内容の充実や改善・工夫をしているか。	4	毎月の目標やねらいを決め、週案というスケジュールを立てて保育を行っている。子ども達が帰ると担任同士で子ども達の様子を振り返り、主活動の内容はどうであったか日々反省し、翌日の保育に繋げている。また、園行事についても、話し合いがなされ、改善工夫をして取り組んだ。
②教育や保育の課題について教職員間での情報共有・連携がしっかりとされているか。	4	毎日の職員朝礼時や夕礼時、また月1回の職員会議において、子ども達の様子等を情報共有し、教育や保育内容、課題についても話し合いがなされ、共有・連携をとっている。
③研修や研究を通じて保育者が自己研鑽に務めているか。	4	エプロンシアターの作成方法や演じ方、リズム遊びや、表現遊びの他にも、発達段階にふさわしい動きや表現など、具体的な技術の指導法を学んだ。また、子ども理解や発達支援に関する研修会を受講し、学びを深め実践することができた。

#### 4. 幼稚園全体について

評価項目	評価	取り組み状況
① 施設・設備の定期的な点検や清掃・整理整頓等、子ども達にとって安心・安全な環境となるように努められたか。	3	日々の清掃に加えて、園内すべての教室に空気清浄機を設置し、園内の環境改善に努めた。遊具については、毎月安全確認を行い、園児たちにとって安心安全の環境の環境になるよう努めている。
② 子育て支援事業を積極的に展開することができたか。	4	預かり保育を始めとした子育て支援の提供を積極的に進めた。令和6年度からは園庭開放に取り組む、作品展に招待をするなど、新しい提供方法を模索しながら行うことができた。
③ 保育参観・懇談会、HPや園便りを通じて、園児の様子や子育てに関する情報を積極的に発信、公開できたか。	4	各学年から毎月1回配布されている「クラスだより」や園全体に関わる「園だより」を配布すると共に、インスタグラム、HPの更新頻度を多くし、園児の様子や行事の様子、プレ教室などの情報発信に努めた。